R-Stage Cylinder KIT（８８ｃｃ）取扱説明書

シリンダーはセラミックメッキシリンダーを採用。
ピストンにはＭｏ（モリブデン）コートを施しています。
また、オイル取り出しが可能なボスが付いており、シリンダーのオイルラインよりオイルの取り出しが可能です。

商品番号　：０１－０４－７００３（シリンダーキット）
　　：０１－０２－７００２（ピストンキット）
適応車種及びフレーム番号
　Ｍｏｎｋｅｙ（ＦＩ）：ＡＢ２７－１９００００１～
（Ｒ－Ｓｔａｇｅ装着車用）

・このたびは、弊社商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

おことわり

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

⚠ 商品についてのご注意 ⚠

この商品は上記適応車種に対応したシリンダーキットです。それ以外のシリンダーヘッドには取り付け出来ません。

⚠使用燃料についてのご注意 ⚠

ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。
ＫＩＴ取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

⚠ 急発進・急加速についてのご注意 ⚠

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎このパーツはクローズド競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず道路運送車両法の保安基準を充たし、遵法運転を心掛けて下さい。
（道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。）
◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
◎ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
◎燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。
◎この製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型２輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所もしくは市税事務所で原付２種への変更（注：登録手順は各市町村により異なり、当説明書が必要な場合があります。）を行い、道路運送車両法の保安基準を充たし、強制賠償保険等の排気量変更の申請を行って下さい。
◎レース等でご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け出来ません。ご了承下さい。

⚠注意　この内容を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

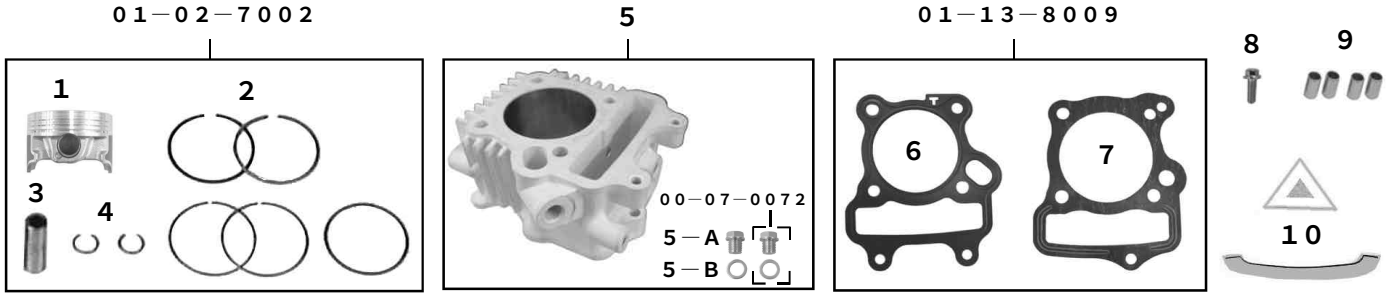
・このパーツはクローズド競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず道路運送車両法の保安基準を充たし、遵法運転を心掛けて下さい。
（道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。）
・作業を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）
※シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行って下さい。
・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

⚠警告 この内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

◎性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますよう、お願い致します。

～商　品　内　容～



番号	部　品　名	個数	リペア品番	入数
１	ピストン（Ｍｏコーティング）	１	１３１０１－ＩＲＳ－Ｔ００Ｒ	１
			１３１０１－ＩＲＳ－Ｔ００Ｙ	１
			１３１０１－ＩＲＳ－Ｔ００Ｂ	１
２	ピストンリング	１	１３０１１－１８１－Ｔ１０	１
３	ピストンピン	１	００－０１－００９１（クリップ付）	１set
４	ピストンピンサークリップ	２	００－０１－０００３	６
５	シリンダーＡＳＳＹ.	１	１２１００－ＧＢＪ－Ｔ０１	１
５－Ａ	オイルプラグボルト	２	９０１４５－ＧＥＹ－Ｔ００	１
５－Ｂ	シーリングワッシャ　１０mm	２	００－０７－００１０	１０
６	シリンダーヘッドガスケット	１	０１－１３－８００９	１set
７	シリンダーガスケット	１		
８	フランジボルト　６×２５	１	００－００－０１１５	５
９	ノックピン　８×１４	４	００－００－０１９４	２
１０	原付２種マークセット	１	――――――	

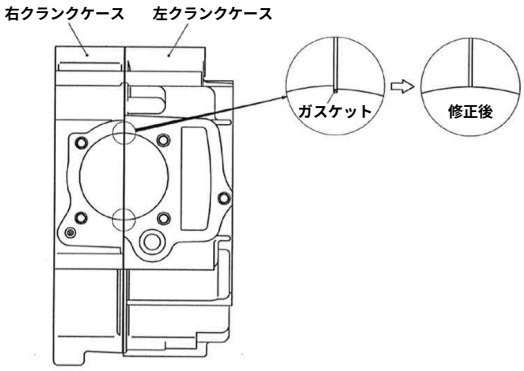
※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注　文下さいます様お願い致します。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９　大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７　FAX ０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７
URL http://www.takegawa.co.jp

～取　り　付　け　要　領～

⚠ 注意：トルクレンチを必ず用意し、確実に規定トルクを守り作業を行う事。
⚠ 警告：技術、知識の無い方は、作業を行わない事。

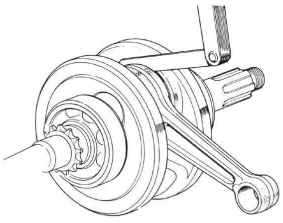
○ エンジン脱着、クランクケース分割等の作業が必要となる商品があります。ホンダ純正サービスマニュアルを必ず参照し、確実に作業を行なって下さい。
○サービスマニュアルに従い、エンジンをフレームから取り外し、エンジンを分解します。
○クランクケースをボーリング加工する必要は無いですが、クランクケースの個体差でシリンダースリーブと干渉してしまう可能性があるので、クランクケースを修正します。



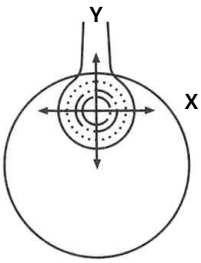
o各部品の点検を行います。
⚠注意：各部の点検、消耗品の確認交換は確実に行う事。

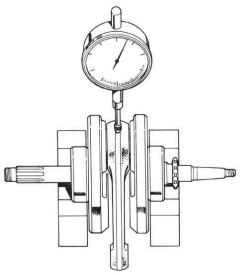
点検項目

・コンロッド小端部の内径を測定する。
　∴１３．１０mm以上交換
・コンロッド大端部軸方向隙間を測定する。
　∴０．４５mm以上交換

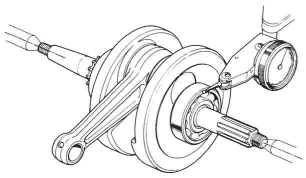


・コンロッド大端部軸直角２方向のガタを測定する。
　∴０．０１２mm以上交換

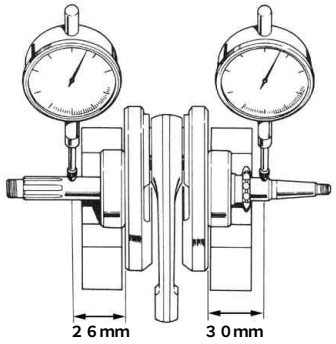




・クランクシャフトのジャーナルベアリングのガタを測定する。
　∴軸方向：０．１０mm以上交換
　　軸受け方向：０．０５mm以上交換



・クランクシャフトの振れを測定する。
　∴０．０３mm以上交換



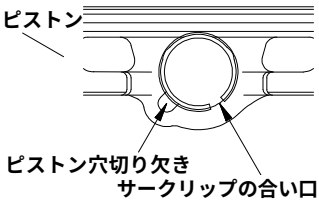
oサービスマニュアルに従いクランクケースを組み立てます。

～シリンダー取り付け要領～

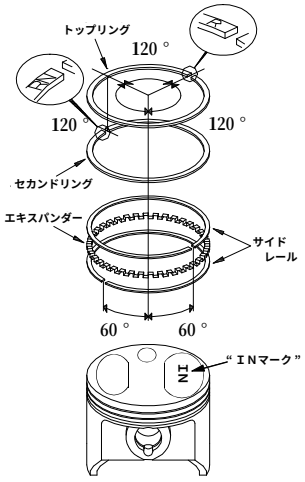
１．ピストンを組み付ける

◇ピストンの片側に付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付ける。
◇ピストンサークリップは左側を先にはめ込みます。

◇ピストンピンサークリップの合い口は、ピストンピン穴の切り欠き部を避け、ピストンに対して上下方向に合わせる。

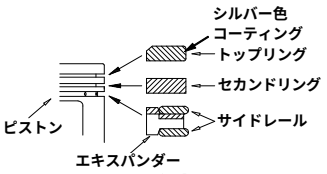


◇ピストンリング溝にオイルを塗布し、図を参考にして印字マークを上側にピストンリングを取り付け、合い口を合わせます。



トップリングの上面及びセカンドリングの上面には印字マークがあります。

※リング側面にシルバー色コーティングがある方がトップリングです。
間違わない様に取り付けて下さい。



断面に注意！！

◇ピストンリング部及び、ピストンピン部をエアブローし、異物の噛み込みが無い事を確認する。

◇リング溝にエンジンオイルを塗布する。

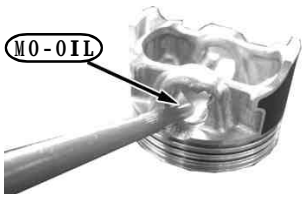
◇エキスパンダーを入れる。

◇下サイドレールを入れる。

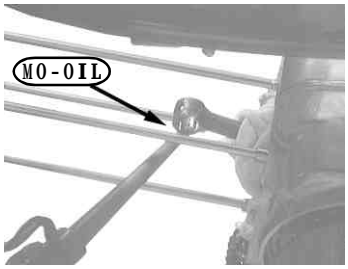
◇上サイドレールを入れる。

◇セカンドリング・トップリングを入れる。

◇ピンボス部にモリブデン溶液を塗布する。



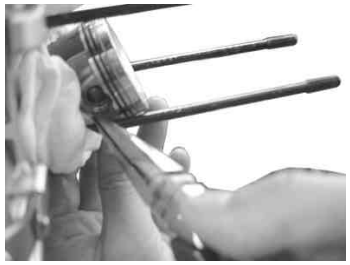
◇コンロッドのピストンピン部にモリブデン溶液を塗る。



◇ピストンヘッド“ＩＮ”マークを上（インテーク側）になるようにしてピストンを取り付ける。

◇コンロッドとピストンにピストンピンを通す。

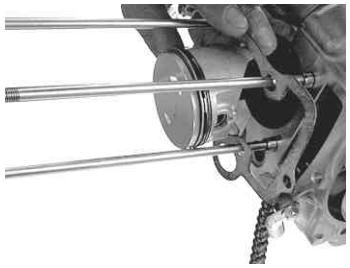
◇付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝に、はめ込む。
◇ピストンピンサークリップの合い口は、ピストンピン穴の切り欠き部を避け、ピストンに対して上下方向に合わせる。



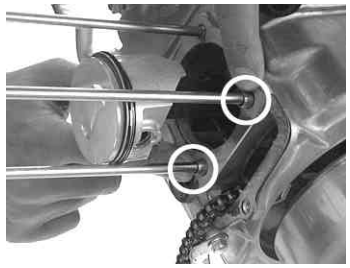
◇詰めていたウエスを取り外す。

２．シリンダーの取り付け

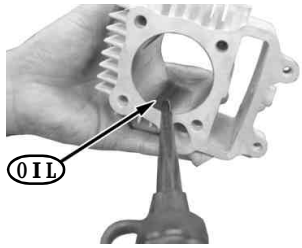
◇シリンダーガスケット面のシリンダー側とクランクケース側を脱脂する。
◇シリンダーガスケットを取り付ける。



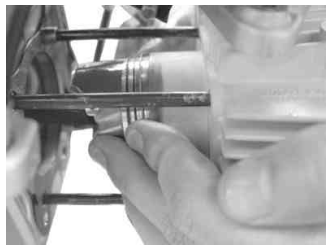
◇キット内のノックピン８×１４を取り付ける。



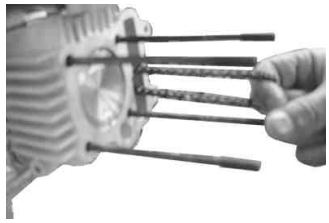
◇キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し指で均等に塗り広げる。



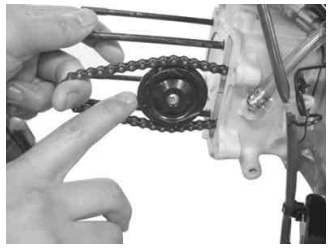
◇シリンダーをピストンリングの合い口がずれない様にしながら指で押し少しずつはめる。



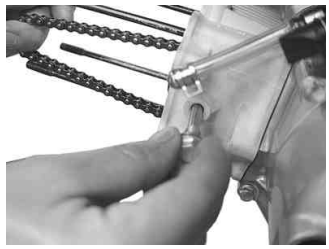
◇リングがシリンダーに入ったらカムチェーンをシリンダーに通しシリンダーをクランクケースにはめる。



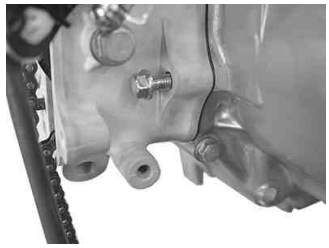
◇カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーを付ける。
◇シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込む。



◇ガイドローラーボルトを取り付け、仮締めする。



◇キット付属のフランジボルト６×２５を取り付け、仮締めする。



○シリンダーヘッドを取扱説明書に従い取り付けます。

⚠警告

このシリンダーマニュアルは基本的な技能や知識を持った人を対象としておりますので、技術、知識の無い方は作業を行わないで下さい。

仕様諸元表

品番	ボアストローク	排気量	圧縮比
０１－０４－７００２	５２×４１.４	８８cm^3	１２.０

シリンダー、ピストン整備諸元表

項目			標準	使用限度	備考
シリンダー	歪み		――――――	０.０５mm	交換
	内径	φ５２	５２.０００～５２.０１５mm	５２.０５mm	交換
ピストン	外径（スカート下端より７mm）	φ５２	５１.９８０～５２.０００mm	５１.９６mm	交換
	ピン穴内径		１３.００２～１３.００８mm	１３.０３mm	交換
ピストンピン外径			１２.９９４～１３.０００mm	１２.９８mm	交換
ピストンリング合口隙間		ＴＯＰ	０.１５～０.３８mm	０.５０mm	交換
		２ＮＤ	０.２０～０.４５mm	０.５０mm	交換
		ＯＩＬ	０.２０～０.７０mm	０.９０mm	交換
シリンダーとピストンの隙間		φ５２	――――――	０.０６mm	交換
ピストンとピンの隙間			０.００２～０.０１４mm	０.０５mm	交換

○トルクの単位記述
　１ｋｇｆ・ｍ＝９.８０６６５Ｎ・ｍ（ニュートンメートル）

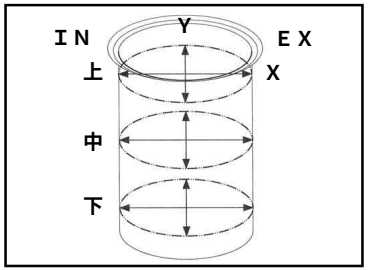
○モリブデン溶液→マーク (MO-OIL)
　モリブデングリースとエンジンオイル１：１の割合で混合して作る。
∴モリブデン溶液塗布指示部には、モリブデン溶液、又は、アッセンブリ―ペーストを塗布すること。

○オーバーホール毎交換品→マーク (NEW)
　分解毎に新品と交換する必要のある部品を示すので､必ず交換すること。

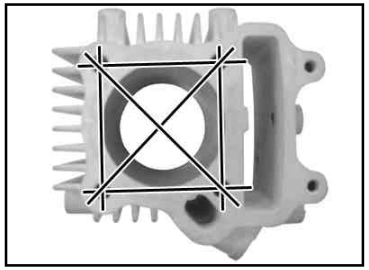
○エンジンオイル→マーク (OIL)
∴指示部にはエンジンオイルを塗布すること。

●シリンダーの点検

・シリンダーの内面の摩耗、損傷を点検する。
・ピストンピン方向とその直角軸方向（Ｘ－Ｙ方向）に、上、中、下段の６ヶ所でシリンダー内径を測定し、記録する。
最大測定値を内径値とする。
∴５２.０５mm以上交換
シリンダーとピストンの隙間を計算して求める。



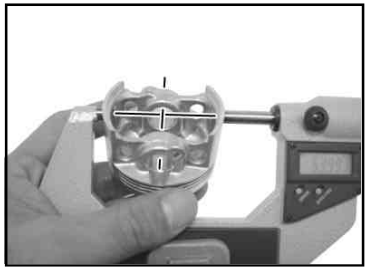
・シリンダーの上面のキズ、損傷を点検する。
・シリンダーの上面の歪みをストレートエッジ及びシックネスゲージで点検する。
∴使用限度：０.０５mm以上交換



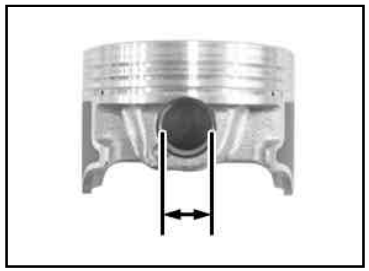
●ピストンの点検

・ピストンからカーボンの汚れを取り除く。
・ピストンにピストンリングを取り付け、ピストンリングをリング溝に押し込んだ状態で、ピストンリングと、リング溝のクリアランスをシックスネゲージで測定する。
∴０.１７mm以上交換

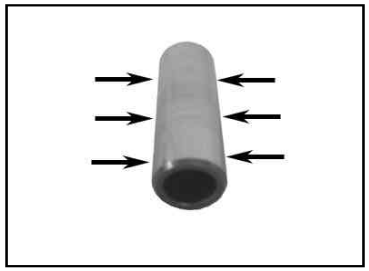
・ピストンの外傷を点検する。
・ピストン穴に対し、直角の方向でピストンスカート下端から指定の位置でピストンの外径を測定する。
∴φ５２－５１.９６mm以下交換



・ピストンピン穴の内径を測定する。
　∴１３．０３mm以上交換



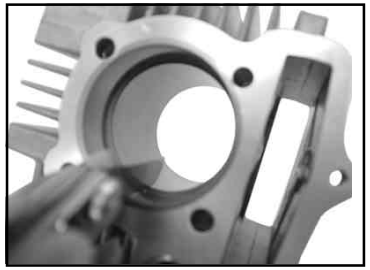
・ピストンピンの外径を測定する。
　∴ピストンピン使用限度：１２．９８mm以下交換



・ピストンとピストンピンの隙間を計算して求める。

●ピストンリングの点検

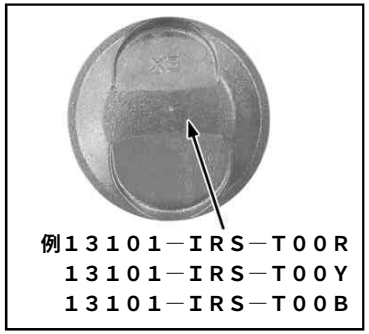
・ピストン頭部でピストンリングを下部に水平に取り付け、合い口のクリアランスをシックネスゲージで測定する。
　∴ＴＯＰ、２ＮＤ－０．５mm以上交換
　　ＯＩＬ－０．９mm以上交換



●補足

・ピストン単品を新品に交換する場合、ピストン頂面に品番が打刻してある。その打刻Ｎｏ.によりピストンを注文することが出来る。

・ピストン頂面に付着したカーボンを取り除き、ピストン頂面に打刻してある品番を確認する。



・頂面に打刻してある品番を注文する。